

注3

大学番号：023

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科  
看護先進科学専攻（博士課程）

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 東京医科歯科大学  
平成29年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 学長戦略企画課

職名・氏名 ヨネタ アユミ  
米田 歩

電話番号 03-5803-4199

（夜間） 03-5803-4199

F A X 03-5803-0273

e-mail houki.adm@tmd.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

保健衛生学研究科

<看護先進科学専攻（博士課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	22

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 東京医科歯科大学

## (2) 大学名

東京医科歯科大学大学院

## (3) 大学の位置

〒113-8510

東京都文京区湯島1-5-45

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	オオヤマ タカシ 大山 喬史 (平成20年4月)	ヨシザワ ヤスユキ 吉澤 靖之 (平成26年4月)	前学長任期満了のため 平成26年4月1日(26)
研究科長	イノウエ トモコ  井上 智子  (平成23年4月)	<del>ホンダ アキコ</del> <del>トヅカ ミノル</del>  本田 彰子 戸塚 実  (平成29年4月) <del>(平成26年4月)</del>	研究科長交代のため 平成26年4月1日(26) 研究科長交代のため 平成29年4月1日(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
保健衛生学研究科 看護先進科学専攻 (博士課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係	5年	13人	65人	基礎となる学部等 医学部保健衛生学 科看護学専攻

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	13 ( - ) [ - ]	人	13 ( - ) [ - ]	人	13 ( - ) [ - ]	人	13 ( - ) [ - ]	人	13 ( - ) [ - ]	人	( ) [ ]	人	1.09倍	
志願者数	35 (9) [1]	- ( - ) [ - ]	26 (5) [ - ]	- ( - ) [ - ]	23 (6) [ - ]	- ( - ) [ - ]	18 (5) [ - ]	- ( - ) [ - ]	17 (5) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	34 (9) [1]	- ( - ) [ - ]	23 (5) [ - ]	- ( - ) [ - ]	21 (5) [ - ]	- ( - ) [ - ]	17 (5) [ - ]	- ( - ) [ - ]	15 (5) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	15 (1) [1]	- ( - ) [ - ]	15 (3) [ - ]	- ( - ) [ - ]	14 (2) [ - ]	- ( - ) [ - ]	15 (4) [ - ]	- ( - ) [ - ]	15 (4) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	15 (1) [1]	- ( - ) [ - ]	14 (3) [ - ]	- ( - ) [ - ]	14 (2) [ - ]	- ( - ) [ - ]	14 (4) [ - ]	- ( - ) [ - ]	14 (4) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.15		1.07		1.07		1.07		1.07		#DIV/0!			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	15 [ 1 ] ( - )	— [ — ] ( - )	14 [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	14 [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )	14 [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )					
2年次	/		14 [ 1 ] ( - )	— [ — ] ( - )	15 [ — ] ( 1 )	— [ — ] ( - )	14 [ — ] ( - )	— [ — ] ( - )					
3年次			/		/		13 [ 1 ] ( - )	— [ — ] ( - )	14 [ — ] ( 1 )	— [ — ] ( - )			
4年次	/						/		/		13 [ 1 ] ( - )	— [ — ] ( - )	
5年次			/		/						/		/
計	15 [ 1 ] ( - )	28 [ 1 ] ( - )					42 [ 1 ] ( 1 )	55 [ 1 ] ( 1 )					

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	15 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情	6.66 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
平成27年度 入学者	14 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人	学生の進路変更のため	7.14 %
			平成28年度	1 人	0 人		
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	14 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	14 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	57 人	2 人					3.50 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<保健衛生学研究科 看護先進科学専攻（博士課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤看護開発学	看護ケア技術開発学特論A	1,2前		2			1			2		兼2 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)
	看護ケア技術開発学演習A	1,2後		2			1		2			
	看護ケア技術開発学特論B	1,2前		2			1	+	+	2		
	看護ケア技術開発学演習B	1,2後		2			1		2		兼 専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)	
	看護ケア技術開発学特論	2,3,4前		4			1	+	+	2		
	ヘルスプロモーション看護学	地域保健看護学特論A	1,2前		2			1		1		兼兼32 履修希望者がいなかったため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28)
		地域保健看護学演習A	1,2前		2			1		+	1	
		地域保健看護学特論	2,3,4通		4			1		+		兼 授業担当教員の変更(27) 履修希望者がいなかったため(26)
		地域健康増進看護学特論A	1,2後		2				1			
		地域健康増進看護学演習A	1,2後		2				1			
		地域健康増進看護学特論	2,3,4前		4				1			兼2 授業担当教員の変更(28) 専任教員でまかなったため(29)
	先端侵襲緩和ケア看護学	先端侵襲緩和ケア看護学特論A	1,2前		2			+	1	+	+	
先端侵襲緩和ケア看護学演習A		1,2後		2			+	1	+	+		
先端侵襲緩和ケア看護学特論B		1,2後		2			+	1	+	+	兼3 教員の異動のため(26) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
先端侵襲緩和ケア看護学演習B		1,2後		2			+	1	+	+		
先端侵襲緩和ケア看護学実習		1,2		6	6		+	1	+	1	兼43 教員の異動のため(26) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29) 教員の異動のため(26) 専門看護師養成にかかる実習科目を選択科目としたため(26) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
先端侵襲緩和ケア看護学特論		2,3,4前		4			+	1	+	+		+
臨床看護開発学		精神保健看護学特論A-1	1,2前		2			+	2	1	1	兼47 35 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)
	精神保健看護学特論A-2	1,2前		2			1	1		+	兼68 41 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	精神保健看護学演習A	1,2前		2			1	1				兼1 専任教員でまかなったため(28) 授業担当教員の変更(27) 専任教員でまかなったため(29)
	精神保健看護学特論B-1	1,2前		2			1	1			兼24 21 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29) 専任教員でまかなったため(26) 専門看護師養成にかかる実習科目を選択科目としたため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	精神保健看護学特論B-2	1,2後		2			+	1	1			
	精神保健看護学演習B	1,2後		2			1				兼 専任教員でまかなったため(26) 専門看護師養成にかかる実習科目を選択科目としたため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	精神保健看護学実習	1,2		6	6		1	1				
	精神保健看護学特論	2,3,4前		4			1	+	1		兼 専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	小児・家族発達看護学特論A-1	1,2前		2			+	1		+		1
	小児・家族発達看護学演習A-1	1,2前		2			+	1		+	1	兼 履修希望者がいなかったため(26) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28)
	小児・家族発達看護学特論A-2	1,2前		2			+	1				
	小児・家族発達看護学演習A-2	1,2前		2			+	1				
	小児・家族発達看護学特論B	1,2後		2			+	1		+	1	兼2 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28)
	小児・家族発達看護学演習B	1,2後		2			+	1		+	1	
	小児・家族発達看護学実習	1,2		6	6		+	1				兼 専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(28)
	小児・家族発達看護学特論	2,3,4前		4			+	1		+		
	リプロダクティブヘルス看護学特論A	1,2前		2			1	+	1			兼1 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(27)
	リプロダクティブヘルス看護学演習A	1,2通		2			1	+	1			
	リプロダクティブヘルス看護学特論B	1,2後		2			1	+	1			兼32 1 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)
	リプロダクティブヘルス看護学演習B	1,2通		2			1	+	1			
リプロダクティブヘルス看護学特論	2,3,4後前		4			1	+				授業担当教員の変更(27) 講義開講期間の変更(29)	

在宅がんエンドオブライフケア看護学	在宅ケア看護学特論A	1, 2前		2		1	1	1		兼	専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27)	
	在宅ケア看護学演習A	1, 2後		2		1	1	1		兼	専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27)	
	在宅ケア看護学特論	2, 3, 4後		4		1	1	1			授業担当教員の変更(27)	
	看護病態生理学※	1, 2前		2		1	1	1		兼 2-8 2-5	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	がんエンドオブライフケア看護学特論A-1	1, 2前		2		1	1	2 1	1	兼 2-1	授業担当教員の変更(27) 専任教員でまかなったため(28) 授業担当教員の変更(29)	
	がんエンドオブライフケア看護学特論A-2	1, 2前		2		1-2 1	1	1	1	兼 1	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)	
	がんエンドオブライフケア看護学演習A	1, 2後		2		1-2 1	1	1	1	兼 6-5 -4	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 専任教員でまかなったため(29)	
	がんエンドオブライフケア看護学特論B	1, 2後		2		1	1	1	1	兼 2-5 2	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 専任教員でまかなったため(29)	
	がんエンドオブライフケア看護学演習B	1, 2後		2		1	1	1	1	兼 2	非常勤講師を追加したため(26) 授業担当教員の変更(27) 専任教員でまかなったため(28)	
	がんエンドオブライフケア看護学実習	1, 2		6	6	1	1		1		専門看護師養成にかかる実習科目を選択科目としたため(26) 授業担当教員の変更(27)	
がんエンドオブライフケア看護学特論	2, 3, 4後		4		1	1		1		授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28)		
先導的看護システム開発学	国際看護開発学特論A	1, 2前		2		1			1	兼 2	授業担当教員の変更(27)	
	国際看護開発学演習A	1, 2後		2		1			1	兼	履修希望者がいなかったため(26) 授業担当教員の変更(27)	
	国際看護開発学特論	2, 3, 4通		4		1			1		授業担当教員の変更(27)	
	看護システムマネジメント学特論A	1, 2前		2		1	1		1	兼 1-2	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 専任教員でまかなったため(29)	
	看護システムマネジメント学特論B	1, 2後		2		1	1		1	兼 1	授業担当教員の変更(27) 専任教員でまかなったため(28)	
	看護システムマネジメント学演習A	1, 2前		2		1	1		1		授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28)	
	看護システムマネジメント学演習B	1, 2後		2		1	1		1		授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28)	
	看護システムマネジメント学特論	2, 3, 4通		4		1	1		1		授業担当教員の変更(27)	
	高齢社会看護ケア開発学	高齢社会看護ケア開発学特論A	1, 2前		2		1	1		1	兼 1 兼 1	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 専任教員でまかなったため(29)
		高齢社会看護ケア開発学演習A	1, 2通		2		1	1		1	兼 2-1	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 専任教員でまかなったため(29)
高齢社会看護ケア開発学特論B		1, 2後		2		1	1		1	兼 4	履修希望者がいなかったため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
高齢社会看護ケア開発学演習B		1, 2後		2		1	1		1	兼	専門看護師養成にかかる実習科目を選択科目としたため(26) 専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27)	
高齢社会看護ケア開発学実習		1, 2		6	6	1	1		1		授業担当教員の変更(27)	
高齢社会看護ケア開発学特論		2, 3, 4前		4		1	1		1	兼	専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27)	
共通科目	医療情報学	1, 2前		2		1-2 1				兼 5-4 5	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	病因・病態解析学	1, 2前		2		1	1			兼 1 2	授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	看護学研究法特論	1, 2前		2		3 2	1 2			兼 3 2	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)	
	看護管理学特論	1, 2前		2		1	1			兼 4-6 4	授業担当教員の変更(27) 専任教員でまかなったため(28) 授業担当教員の変更(29)	
	看護政策学特論	1, 2後		2		1	1			兼 4-8 5	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	家族看護学特論	1, 2後		2		6-4 5	1				授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	看護情報統計学特論	1, 2後 前		2		1			1	兼 1	専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 講義開講期間の変更、授業担当教員の変更(29)	
	看護教育学特論	1, 2後		2		3-4 2 3				兼 3 2	授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	国際看護研究方法論	1, 2後		2		1	1			兼 1 1	専任教員でまかなったため(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	看護研究方法論(国際比較研究)	1, 2後 前		1		1				兼 1	平成27年度開講のため(26) 授業担当教員の変更(28) 講義開講期間の変更(29)	
	看護研究方法論(グランデッドセオリー)	1, 2後		1		1	1			兼 3-2 3	専任教員でまかなったため(26) 授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(28) 授業担当教員の変更(29)	
	インディペンデントスタディA	1~5		2		11-9 8	1-4 6		2		授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)	
	インディペンデントスタディB	1~5		2		11-9 8	1-4 6		2		授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)	
	特別研究I	1~2	4			11-9 8	7-4 6		2		授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)	
	特別研究II	3~5	8			11-9 8	7-4 6		2		授業担当教員の変更(27) 授業担当教員の変更(29)	
	特別研究	1~5	12			11	7				研究の進捗状況を確認するため、特別研究をI・IIに分割し、2年及び5年次に単位認定することとした(26)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 71	科目 5	科目 77	科目 2 [1]	科目 76 [5]	科目 0 [△5]	科目 78 [1]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別研究を特別研究Ⅰ・Ⅱとしたため。</li> <li>・ 専門看護師養成にかかる実習5科目を選択科目としたため。</li> </ul>

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	<del>小児・家族発達看護学特論A-2</del>	2	1,2前	専門	選択	<del>担当教授の定年退職および後任者未定による。履修者なしのため、代替措置なし。(28)</del>
2	<del>小児・家族発達看護学演習A-2</del>	2	1,2前	専門	選択	<del>担当教授の定年退職および後任者未定による。履修者なしのため、代替措置なし。(28)</del>
3	<del>小児・家族発達看護学実習</del>	6	1,2	専門	選択	<del>担当教授の定年退職および後任者未定による。履修者なしのため、代替措置なし。(28)</del>
<b>該当なし</b>						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						
<b>該当なし</b>						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

~~(3)に記載した3科目については、H28.3に2年次だった学生に対しては成績判定がなされており、またH28.3時点で1年次であった学生については、履修登録者なしのため、学生への不利益等の影響はない。また未開講の周知については、シラバス、本学ホームページによる周知及び新入生ガイダンスで行った。(28)~~

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	土地売却のため(29)		
	校舎敷地	77,695 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	77,695 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	19,972 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	19,972 m <sup>2</sup>			
	小 計	97,667 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	97,667 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	13,929 14,332 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	13,929 14,332 m <sup>2</sup>			
	合 計	111,596 111,999 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	111,596 111,999 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		125,398 m <sup>2</sup> ( 125,398 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	125,398 m <sup>2</sup> ( 125,398 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		83 室	52 室	556 室	2 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		看護先進科学専攻			23 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、申請大学全体の数 図書及び視聴覚資料は増加させている(29)
	看護先進科学専攻	322,450 [142,501] 299,009 [134,119] (322,450 [142,501]) (299,009 [134,119])	3,720 [2,060] 3,801 [2,102] (3,720 [2,060]) (3,801 [2,102])	7,389 [6,332] 9,796 [8,818] (7,389 [6,332]) (9,796 [8,818])	1,405 934 (1,405) (934)	497 (497)	55,862 (55,862)	
	計	322,450 [142,501] 299,009 [134,119] (322,450 [142,501]) (299,009 [134,119])	3,720 [2,060] 3,801 [2,102] (3,720 [2,060]) (3,801 [2,102])	7,389 [6,332] 9,796 [8,818] (7,389 [6,332]) (9,796 [8,818])	1,405 934 (1,405) (934)	497 (497)	55,862 (55,862)	
(6) 図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		5,513 -5,677		433 426	377,000 383,000		図書館改修のため(29)	
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		1,662 m <sup>2</sup>		テニスコート、プール、武道館、柔剣道場、弓道場				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	東京医科歯科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医歯学総合研究科 (修士課程) 医歯理工学専攻	2	110	—	215	修士(医科学) (歯科学) (理学) (工学) (口腔保健学) (医療管理学) (医療政策学)	1.06	H24年度	東京都文京区湯島1-5-45	
(博士課程)									
医歯学系専攻	4	181	—	740	博士(医学) (歯学) (学術)	1.20	H24年度		
生命理工学系専攻	3	25	—	75	博士(理学) (工学)	0.57	H24年度		
口腔機能再構築学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
顎顔面頭部機能再建学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度		平成24年度より学生募集停止
生体支持組織学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
環境社会医歯学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
老化制御学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
全人的医療開発学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度		平成24年度より学生募集停止
認知行動医学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H11年度		平成24年度より学生募集停止
生体環境応答学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
器官システム制御学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
先端医療開発学系専攻	4	—	—	—	博士(医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止
東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻	5	3	—	6	博士(医学)	0.16	H28年度		
東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻	5	3	—	6	博士(歯学)	0.5	H28年度		
保健衛生学研究科 (博士課程(前期)) 生体検査科学専攻	2	12	—	24	修士(看護学) (保健学)	1.20	H13年度		
(博士課程(後期)) 総合保健看護学専攻	3	—	—	—	博士(看護学) (保健学)	—	H13年度		平成28年度より学生募集停止
生体検査科学専攻	3	6	—	18	博士(看護学) (保健学)	0.99	H13年度		
(博士課程) 看護先進科学専攻	5	13	—	52	博士(看護学)	1.09	H26年度		
共同災害看護学専攻	5	2	—	8	博士(看護学)	1.12	H26年度		

大学 の 名 称									東 京 医 科 歯 科 大 学		備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次人	人		倍						
医学部			2年次		学士(医学)	1.00	S26年度	東京都文京区湯島1-5-45				
医学科	6	101	5	630	学士(看護学)、	1.01	H元年度					
保健衛生学科	4	90		360	学士(保健学)							
歯学部			2年次		学士(歯学)	1.00	S26年度					
歯学科	6	53		318								
口腔保健学科	4	32	3年次	155	学士(口腔保健学)	1.04	H16年度					
			6									

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<保健衛生学研究科 看護先進科学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	佐々木 明子(57)	平成26年4月	看護教育学特論、地域保健看護学特論A、地域保健看護学演習A、地域保健看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究					看護教育学特論、地域保健看護学特論A、地域保健看護学演習A、地域保健看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	教授	井上 智子(58)	平成26年4月	家族看護学特論、看護教育学特論、看護研究方法論(グランデッドセオリー)、先端侵襲緩和ケア看護学特論A、先端侵襲緩和ケア看護学演習A、先端侵襲緩和ケア看護学特論B、先端侵襲緩和ケア看護学演習B、先端侵襲緩和ケア看護学実習、先端侵襲緩和ケア看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究	専	教授	田中 真琴(44)	H28年6月	家族看護学特論、看護教育学特論、看護研究方法論(グランデッドセオリー)、先端侵襲緩和ケア看護学特論A、先端侵襲緩和ケア看護学演習A、先端侵襲緩和ケア看護学特論B、先端侵襲緩和ケア看護学演習B、先端侵襲緩和ケア看護学実習、先端侵襲緩和ケア看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 井上智子(H28.3.31退職) (28) 専任教員の採用 (29)
専	教授	緒方 泰子(45)	平成26年4月	看護学研究法特論、家族看護学特論、看護情報統計学特論、高齢社会看護ケア開発学特論A、高齢社会看護ケア開発学演習A、高齢社会看護ケア開発学特論B、高齢社会看護ケア開発学演習B、高齢社会看護ケア開発学実習、高齢社会看護ケア開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究					看護学研究法特論、家族看護学特論、看護情報統計学特論、高齢社会看護ケア開発学特論A、高齢社会看護ケア開発学演習A、高齢社会看護ケア開発学特論B、高齢社会看護ケア開発学演習B、高齢社会看護ケア開発学実習、高齢社会看護ケア開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	教授	本田 彰子(53)	平成26年4月	看護学研究法特論、家族看護学特論、看護教育学特論、在宅ケア看護学特論A、在宅ケア看護学演習A、在宅ケア看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究					がんエンドオブライフケア看護学特論A-1、がんエンドオブライフケア看護学特論A-2、がんエンドオブライフケア看護学演習A、がんエンドオブライフケア看護学特論B、がんエンドオブライフケア看護学演習B、がんエンドオブライフケア看護学実習、看護情報統計学特論、医療情報学、看護学研究法特論、家族看護学特論、看護教育学特論、在宅ケア看護学特論A、在宅ケア看護学演習A、在宅ケア看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	教授	齋藤 やよい(55)	平成26年4月	看護ケア技術開発学特論A、看護ケア技術開発学演習A、看護ケア技術開発学特論B、看護ケア技術開発学演習B、看護ケア技術開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究					看護ケア技術開発学特論A、看護ケア技術開発学演習A、看護ケア技術開発学特論B、看護ケア技術開発学演習B、看護ケア技術開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)

専	教授	廣瀬 たい子 (62)	平成26年4月	家族看護学特論、小児・家族発達看護学特論A-1、小児・家族発達看護学演習A-1、小児・家族発達看護学特論A-2、小児・家族発達看護学演習A-2、小児・家族発達看護学特論B、小児・家族発達看護学演習B、小児・家族発達看護学実習、小児・家族発達看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究	専	准教授	岡光 基子 (46)	H28年4月	精神保健看護学特論A-1、家族看護学特論、小児・家族発達看護学特論A-1、小児・家族発達看護学演習A-1、小児・家族発達看護学特論B、小児・家族発達看護学演習B、小児・家族発達看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 廣瀬たい子H28.3.31定年退職 (28) 岡光基子 (H28.4.1准教授昇任) (28) 授業担当教員の変更 (29)
専	教授	丸 光恵 (49)	平成26年4月	国際看護研究方法論、看護研究方法論(国際比較研究)、国際看護開発学特論A、国際看護開発学演習A、国際看護開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究	専	教授	近藤 暁子 (48)	H27年4月	国際看護研究方法論、看護研究方法論(国際比較研究)、国際看護開発学特論A、国際看護開発学演習A、国際看護開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 丸光恵 (H26.9.30退職) (27) 専任教員の採用 (27)
専	教授	田上 美千佳 (51)	平成26年4月	家族看護学特論、看護教育学特論、精神保健看護学特論A-1、精神保健看護学特論A-2、精神保健看護学演習A、精神保健看護学特論B-1、精神保健看護学特論B-2、精神保健看護学演習B、精神保健看護学実習、精神保健看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究					家族看護学特論、看護教育学特論、精神保健看護学特論A-1、精神保健看護学特論A-2、精神保健看護学演習A、精神保健看護学特論B-1、精神保健看護学特論B-2、精神保健看護学演習B、精神保健看護学実習、精神保健看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	教授	大久保 功子 (52)	平成26年4月	看護学研究法特論、家族看護学特論、リプロダクティブヘルス看護学特論A、リプロダクティブヘルス看護学演習A、リプロダクティブヘルス看護学特論B、リプロダクティブヘルス看護学演習B、リプロダクティブヘルス看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究					看護学研究法特論、家族看護学特論、リプロダクティブヘルス看護学特論A、リプロダクティブヘルス看護学演習A、リプロダクティブヘルス看護学特論B、リプロダクティブヘルス看護学演習B、リプロダクティブヘルス看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	教授	未定	平成26年4月	看護情報統計学特論、がんエンドオブライフケア看護学特論A-1、がんエンドオブライフケア看護学特論A-2、がんエンドオブライフケア看護学演習A、がんエンドオブライフケア看護学特論B、がんエンドオブライフケア看護学演習B、がんエンドオブライフケア看護学実習、がんエンドオブライフケア看護学特論、看護病態生理学、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究	専	准教授	山崎 智子 (52)	H26年6月	がんエンドオブライフケア看護学特論A-1、がんエンドオブライフケア看護学特論A-2、がんエンドオブライフケア看護学演習A、がんエンドオブライフケア看護学特論B、がんエンドオブライフケア看護学演習B、がんエンドオブライフケア看護学実習、がんエンドオブライフケア看護学特論、看護病態生理学、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 専任教員の採用のため (27)

専	教授	未定	平成26年4月	看護情報統計学特論、看護政策学特論、看護管理学特論、看護システムマネジメント学特論A、看護システムマネジメント学特論B、看護システムマネジメント学演習A、看護システムマネジメント学演習B、看護システムマネジメント学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究			採用者未定			H29.5.1現在、採用予定者未定 (29)
専	准教授	深堀 浩樹 (37)	平成26年4月	看護学研究法特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究					看護システムマネジメント学特論A、看護システムマネジメント学演習A、看護システムマネジメント学特論B、看護システムマネジメント学演習B、看護システムマネジメント特論、看護政策学特論、看護管理学特論、看護学研究法特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	准教授	森田 久美子 (40)	平成26年4月	地域健康増進看護学特論A、地域健康増進看護学演習A、地域健康増進看護学特論、高齢社会看護ケア開発学特論A、高齢社会看護ケア開発学演習A、高齢社会看護ケア開発学特論B、高齢社会看護ケア開発学演習B、高齢社会看護ケア開発学実習、高齢社会看護ケア開発学特論、特別研究					看護学研究法特論、地域健康増進看護学特論A、地域健康増進看護学演習A、地域健康増進看護学特論、高齢社会看護ケア開発学特論A、高齢社会看護ケア開発学演習A、高齢社会看護ケア開発学特論B、高齢社会看護ケア開発学演習B、高齢社会看護ケア開発学実習、高齢社会看護ケア開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	准教授	美濃 由紀子 (43)	平成26年4月	精神保健看護学特論A-2、精神保健看護学演習A、精神保健看護学特論B-1、精神保健看護学特論B-2、精神保健看護学実習、精神保健看護学特論、特別研究					精神保健看護学特論A-2、精神保健看護学演習A、精神保健看護学特論B-1、精神保健看護学特論B-2、精神保健看護学実習、精神保健看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	准教授	未定	平成26年4月	看護ケア技術開発学特論B、看護ケア技術開発学特論、在宅ケア看護学特論A、在宅ケア看護学演習A、在宅ケア看護学特論、特別研究			採用者未定			H29.5.1現在、採用予定者未定 (29)
専	准教授	未定	平成26年4月	リプロダクティブヘルス看護学特論A、リプロダクティブヘルス看護学演習A、リプロダクティブヘルス看護学特論B、リプロダクティブヘルス看護学演習B、リプロダクティブヘルス看護学特論、特別研究	専	講師	内堀 真弓 (46)	H27年4月	がんエンドオブライフケア看護学特論A-1、がんエンドオブライフケア看護学特論A-2、がんエンドオブライフケア看護学演習A、がんエンドオブライフケア看護学特論B、がんエンドオブライフケア看護学演習B、在宅ケア看護学特論A、在宅ケア看護学演習A、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 専任教員の採用のため (27)

専	講師	三隅 順子 (47)	平成26年4月	特別研究					特別研究、リプロダクティブヘルス看護学特論A、リプロダクティブヘルス看護学演習A、リプロダクティブヘルス看護学特論B、リプロダクティブヘルス看護学演習B、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	講師	矢富 有見子 (42)	平成26年4月	特別研究	専	准教授	川上 明希 (36)	H29年5月	インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB、特別研究 I、特別研究 II	(教員審査省略) 矢富有見子H29.3.31退職 (29) 専任教員の採用 (29)
専	助教	大黒 理恵 (35)	平成26年4月	がんエンドオブライフケア看護学特論A-1、がんエンドオブライフケア看護学特論A-2、がんエンドオブライフケア看護学演習A					がんエンドオブライフケア看護学特論A-1、がんエンドオブライフケア看護学特論A-2、がんエンドオブライフケア看護学演習A、看護ケア技術開発学特論A、看護ケア技術開発学演習A、看護ケア技術開発学特論B、看護ケア技術開発学演習B、看護ケア技術開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	助教	大河原 知嘉子 (33)	平成26年4月	がんエンドオブライフケア看護学特論B、がんエンドオブライフケア看護学演習B、がんエンドオブライフケア看護学実習、がんエンドオブライフケア看護学特論					がんエンドオブライフケア看護学特論B、がんエンドオブライフケア看護学演習B、がんエンドオブライフケア看護学実習、がんエンドオブライフケア看護学特論、看護ケア技術開発学特論A、看護ケア技術開発学演習A、看護ケア技術開発学特論B、看護ケア技術開発学演習B、看護ケア技術開発学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	助教	津田 紫緒 (39)	平成26年4月	地域保健看護学特論A、地域保健看護学演習A、地域保健看護学特論					地域保健看護学特論A、地域保健看護学演習A、地域保健看護学特論、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)
専	助教	森 陽子 (39)	平成26年4月	看護病態生理学、国際看護開発学特論A、国際看護開発学演習A、国際看護開発学特論	専	助教	湯本 淑江 (37)	H27年4月	インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 森陽子 (H27.3.31退職) (27) 専任教員の採用 (27)
専	助教	渡邊 敦子 (45)	平成26年4月	高齢社会看護ケア開発学特論A、高齢社会看護ケア開発学特論	専	助教	廣山 奈津子 (36)	H27年10月	看護システムマネジメント学特論A、看護システムマネジメント学演習A、看護システムマネジメント学演習B、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 渡邊敦子 (H27.8.31退職) (28) 専任教員の採用 (28)
専	助教	岡光 基子 (42)	平成26年4月	小児・家族発達看護学特論A-1、小児・家族発達看護学演習A-1、小児・家族発達看護学特論B、小児・家族発達看護学演習B、小児・家族発達看護学特論	専	助教	矢郷 哲志 (34)	H28年4月	小児・家族発達看護学特論A-1、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)

専	助教	川本 祐子 (33)	平成26年4月	先端侵襲緩和ケア看護学特論A、先端侵襲緩和ケア看護学特論				先端侵襲緩和ケア看護学特論A、先端侵襲緩和ケア看護学特論、先端侵襲緩和ケア実習、インディペンデントスタディA、インディペンデントスタディB	(教員審査省略) 授業担当教員の変更 (29)	
					兼任	教授	伊藤 南 (54)	平成26年4月	医療情報学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	佐々木 吉子 (46)	平成26年4月	医療情報学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	准教授	鶴田 潤 (41)	平成26年4月	医療情報学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	村松 正明 (57)	平成26年4月	医療情報学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	助教	甲畑 宏子 (34)	平成27年5月	医療情報学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	角 勇樹 (52)	平成26年4月	病因・病態解析学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	笹野 哲郎 (45)	平成26年4月	病因・病態解析学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	操 華子 (50)	平成26年4月	看護学研究法特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	武藤 かおり (43)	平成26年4月	看護学研究法特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	井出 恵伊子 (50)	平成26年4月	看護管理学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	恩田 清美 (56)	平成27年4月	看護管理学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	松村 啓史 (60)	平成26年4月	看護管理学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	宗村 美江子 (58)	平成26年4月	看護管理学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	平林 勝政 (69)	平成26年4月	看護政策学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	石原 美和 (51)	平成27年4月	看護政策学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	佐藤 主光 (44)	平成26年4月	看護政策学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	伊勢田 暁子 (42)	平成26年4月	看護政策学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	児玉 有子 (39)	平成27年4月	看護政策学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	池田 正臣 (57)	平成26年4月	看護情報統計学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	亀岡 智美 (55)	平成29年4月	看護教育学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	濱口 恵子 (56)	平成29年4月	看護教育学特論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	Ann L. Eckhardt (34)	平成28年4月	国際看護研究方法論	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	三浦 英恵 (45)	平成29年4月	看護研究方法論 (グランデッドセオリー)	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	小原 泉 (48)	平成27年4月	看護研究方法論 (グランデッドセオリー)	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	阿部 正子 (47)	平成27年4月	看護研究方法論 (グランデッドセオリー)	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	三木 祐子 (52)	平成27年4月	地域保健看護学特論A	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	照沼 正子 (57)	平成26年4月	地域保健看護学特論A	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	植竹 宏之 (52)	平成27年1月	看護病態生理学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	准教授	新井 文子 (53)	平成29年4月	看護病態生理学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	准教授	石黒 めぐみ (41)	平成26年10月	看護病態生理学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	戸田 一真 (37)	平成27年4月	看護病態生理学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	助教	坂下 博之 (47)	平成26年4月	看護病態生理学	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	松岡 恵 (55)	平成26年4月	リプロダクティブヘルス看護学特論B	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	講師	井村 真澄 (56)	平成26年4月	リプロダクティブヘルス看護学演習B	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	西川 徹 (60)	平成26年4月	精神保健看護学特論A-1	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	車地 暁生 (57)	平成26年4月	精神保健看護学特論A-1	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	准教授	松島 英介 (60)	平成26年4月	精神保健看護学特論A-1	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	朝田 隆 (62)	平成29年4月	精神保健看護学特論A-1	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	助教	治徳 大介 (36)	平成26年4月	精神保健看護学特論A-1	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	准教授	田中 智彦 (45)	平成26年4月	精神保健看護学特論A-2	授業担当教員の変更 (29)
					兼任	教授	岡田 幸之 (48)	平成27年9月	精神保健看護学特論B-2	授業担当教員の変更 (29)

(注) ・ 設置時の様式第3号 (その2の1) に準じて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
11	7	0	7	25						9	7	2	7	25
(10)	(4)	(2)	(5)	(21)	8	6	2	7	23	[Δ2]	[0]	[2]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
18	7	0			16	7	0			18	7	0		
(16)	(5)	(0)								[0]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用す
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。



4	講師	矢富 有見子	必修	特別研究Ⅰ	①	転職のため辞任 (29)							
			必修	特別研究Ⅱ	①								
5	助教	森 陽子	選択	看護病態生理学	①	転職のため辞任 (27)							
			選択	国際看護開発学特論A	①								
			選択	国際看護開発学演習A	①								
			選択	国際看護開発学特論	①								
6	助教	渡邊 敦子	選択	高齢社会看護ケア開発学特論A	②	転職のため辞任 (28)							
			選択	高齢社会看護ケア開発学特論	③								
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
6	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	35	科目	選択	35	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	43	科目	計	43	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
6	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	35	科目	選択	35	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	43	科目	計	43	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員の辞職については、後任補充および授業担当者の変更等により補えており、運営に支障をきたすことはない。また、学生への周知については、履修要項および新入生ガイダンス等において行っている。(29)</p>
---

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (25年8月)	【1】専攻名称に相応しい教育研究を行うべく、教育課程や教員組織等の検証をしていくことが望ましい。	要望意見	専攻名称に相応しい教育研究を行うべく、研究科長を含めた約7名の教員で構成される教育委員会及び全分野の教授、准教授が参加する研究科委員会にて、教育課程等の検証を継続して行っている。(29)
設 置 時  (25年8月)	【3】他大学の学士課程や修士課程修了者を受け入れる計画であることを明示し、履修モデルや履修指導方針、入学者選抜方法等を適切に周知することが望ましい。	要望意見	毎年度、他大学の学生も含めた受験希望者に向け、大学院説明会を実施し、履修モデルや履修指導方針、入学者選抜方法等について周知を行っている。  他大学の学士課程修了者数 (内他大学修士課程修了者数) H26入学者15名中12名(2名) H27入学者14名中12名(4名) H28入学者14名中10名(2名) H29入学者14名中11名(4名)  (29)
設 置 時  (25年8月)	【3】学生確保の見通しについて、自大学における少数を対象とした調査を根拠としているため、長期的・安定的に学生を確保する観点から他大学に対しても積極的に学生募集を行うことが望ましい。	要望意見	毎年度、他大学の学生も含めた受験希望者に向け、大学院説明会を実施し、専攻の概要や分野別の説明を行っている。また、当説明会の実施については、大学ホームページで案内を行う他、ポスター掲示等で周知している。  他大学の学士課程修了者数 (内他大学修士課程修了者数) H26入学者15名中12名(2名) H27入学者14名中12名(4名) H28入学者14名中10名(2名) H29入学者14名中11名(4名)  (29)

<p>設置時  (25年8月)</p>	<p>【3】学生確保の観点から、大学院設置基準第14条の特例や長期履修制度等の活用が考えられるため、具体的な対策を講じることが望ましい。</p>	<p>要望意見</p>	<p>職業を有していたり、出産、育児等を行う必要がある学生に対して、長期履修制度を設けており、平成26年度の開設時から現在まで延べ2名の学生が活用している。これらの対策により、開設年度から今年度まで、入学定員以上の学生を確保できている。</p> <p>入学定員13名 H26入学者数 15名 H27入学者数 14名 H28入学者数 14名 H29入学者数 14名</p> <p>(29)</p>	
-----------------------------	--	-------------	---	--

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<保健衛生学研究科 看護先進科学専攻（博士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div data-bbox="778 545 1246 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"><b>該当なし</b></div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

保健衛生学研究科委員会、保健衛生学研究科教育委員会

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

保健衛生学研究科委員会

原則月1回開催（8月を除く）

研究科に置かれている分野の教授及び准教授が参加している。

保健衛生学研究科教育委員会

原則月1回開催（8月を除く）

次の教員が参加している。

- (1) 保健衛生学研究科長
- (2) 医学部保健衛生学科長
- (3) 看護先進科学専攻に所属する教授又は准教授 2名
- (4) 共同災害看護学専攻に所属する教授又は准教授 1名
- (5) 生体検査科学専攻に所属する教授又は准教授 2名
- (6) その他委員長が必要と認める者 若干名

#### c 委員会の審議事項等

保健衛生学研究科委員会

- (1) 学生の入学及び課程の修了に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 教育課程の編成に関する事項
- (4) 学生の退学、転学、留学、休学及び復学に関する事項
- (5) 学生の懲戒に関する事項
- (6) 学生交流協定の締結に関する事項

保健衛生学研究科教育委員会

- (1) 教育方針、教育計画及び教育方法に関する事項
- (2) 学生の身分等に関する事項
- (3) 単位認定等に関する事項
- (4) 学位論文審査等に関する事項
- (5) 研究科年報の編集に関する事項
- (6) その他委員会が必要と認める事項

### ② 実施状況

#### a 実施内容

保健衛生学研究科・保健衛生学科FDを平成26年度より毎年度実施し、年度ごとに設定したテーマについて、講師の講演と質疑応答による研修を行っている。

平成26年度テーマ 「学生のメンタルヘルスと教員の関わり」

平成27年度テーマ 「教育改革について」

平成28年度テーマ 「大学のグローバル化への対応に向けて」

#### b 実施方法

教員によって構成されるFD実行委員会が企画・実施している。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成26年度・・・平成27年1月28日実施 参加者数47名

平成27年度・・・平成28年1月27日実施 参加者数51名

平成28年度・・・平成29年1月25日実施 参加者数47名

保健衛生学研究科に所属する助教以上の教員が参加している。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員FDや教育委員会の場において、大学院生が所属する研究室の指導教員のみならず、教育・研究指導を任せるよりも、指導教員を含めた複数の教員との関係を構築し継続することにより、より多角的かつ客観的に指導を行うことができ、教員間においても指導の分担によって、時間的な面でも相互に補うことにつながり、教育研究活動がより効率的となる。また学生のメンタルヘルス支援という面においても望ましいという議論となり、複数の異なる専門分野の教員による指導・評価体制を整備した。

本体制を整備することにより、学生の研究力、メンタルヘルスの向上のみならず、教員側においても、異なる専門分野の学生を指導することによる、教育力の向上につなげられることを目指している。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

平成26年度より、年末に実施している。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

次年度の保健衛生学研究科教育委員会にて、各委員にアンケート集計結果を報告し、要望事項等に対する対応を検討した上で、対応策とともに保健衛生学研究科委員会にて教員に報告し、ホームページで学生に公開している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成26年度の開設から現在まで、入学者数は入学定員を下回っておらず、順調に進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 毎年度7～9月頃公表

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、平成28年3月24日付けで機構が定める「大学評価基準を満たしている」という評価を得ている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成~~28~~29年5月 )